



福生市

高齢者全戸訪問

平成26年度
東京都消費者教育
モデル事業

取組の概要

平成26年度事業実施

- 65歳以上の高齢者が住む全世帯を戸別訪問し、消費者被害防止の啓発を実施

実施内容

全戸訪問事業の実施概要

- 実施時期：平成26年9月30日～平成27年2月27日
- 実施体制：業務委託により実施。2名1組で訪問。不在の場合は3回まで訪問

- ・ 訪問リスト作成…総合窓口課へ高齢者の個人情報利用を届出
- ・ 訪問マニュアル作成…訪問した際のケース別対応方法等を記載
- ・ 訪問員募集…チラシ、HPや求人広告により募集
- ・ マナー研修、警察講話、個人情報研修等を受講
⇒訪問時の接し方や話し方、最近発生している特殊詐欺の事案、福生市個人情報保護条例などについて事前に習得

- 対象世帯：65歳以上の高齢者を含む約1万世帯
- 啓発内容：悪質商法・振り込め詐欺の手口などの説明、啓発グッズ配付
詐欺電話の会話内容が録音されたテープの音声を聞いてもらう 等
- 事業費：約1,500万円 ※東京都消費者行政活性化基金事業として実施

◆本事業は、全高齢者世帯に訪問啓発を実施した平成25年度の「振り込め詐欺ゼロキャンペーン」を発展させ、「悪質商法全般」まで啓発項目を広げて実施した。

取組の成果

- 高齢者からの消費生活相談件数が増加 ※東京都及び福生市受付分。60歳以上の件数。
平成25年度：102件 ⇒ 平成26年度：126件（前年度比23.5%増）
- 特殊詐欺被害件数及び被害額が減少 ※福生警察署調べ
平成25年：7件、約4,400万円 ⇒ 平成26年：8件、約1,400万円
※件数は1件増であるが、うち2件は「騙された振り作戦」により被疑者確保に至っており、実質の被害件数は6件。被害額は大幅に減となった。
- 消費者被害防止啓発が主目的であるが、訪問の際、応答がなく郵便物が溜まっている等の不審点がみられた場合、高齢福祉課に情報提供を行うなど、福祉部門との連携強化にも効果的であった。

事業開始時の「広報ふっさ(平成26年9月15日)」

人口	28,427
世帯数	28,124
出生数	55,448
死亡数	28,209

今年度も行います!! 悪質商法・振り込め詐欺ゼロキャンペーン

手口が多様化している悪質商法や振り込め詐欺を未然に防ぐため、65歳以上の高齢者を主な対象に訪問員が二人一組で周辺の手口や注意点を説明にまいります。

昨年実施した「振り込め詐欺ゼロキャンペーン」に引き続き、今年度は「悪質商法全般」まで啓発項目を広げてキャンペーンを実施し、被害防止に努めます。同時に被害防止グッズも配布しますので、ぜひ活用して悪質商法や振り込め詐欺を撃退しましょう。

【実施期間】9月から平成27年2月末まで
 【対象】65歳以上の高齢者を主な対象
 【活動の範囲】日光市街のベスト・メッシュキャブ
 ※訪問員は身分証明書を持参しています。
 【問合せ】シティセールス推進課産業活性化グループ ☎ 551-1099

「ご用心! こんな怪談ありませんか?」

訪問販売! 訪問販売が一方的に消費者を訪問し、訪問先で商品(権利、商品等)の取扱いを行う手法

架空請求! 架空請求はメールなど、電子メールの「架空請求」サービスなどを利用する手法

振り込め詐欺! 振り込め詐欺は、振り込め詐欺の被害者から振り込め詐欺の被害者へ振り込まれる手法

福生市のホームページアドレスは <http://www.city.fussa.tokyo.jp/> です

訪問員



啓発グッズ



苦労した点など

- 平成25年度の実績が市民から大変好評だったため、更に悪質商法全般まで啓発項目を広げて実施したのが、この取組です。
- プロポーザル方式による委託業者の選定、契約、訪問員確保、訪問員研修、グッズ等の作成、関係各所への連絡等、短期間で準備作業が多く苦労しました。
- 一部には「税金の無駄使いだ」といった否定的な意見もありましたが、「心強い」「安心する」といった肯定的な反応が多く、事業の意義は大きいと思います。

取組のポイント!

- 全戸訪問により、漏れなく啓発活動を実施することが可能となります。また、社会的に関心の高い振り込め詐欺と併せて啓発を行ったり、訪問時にグッズ配付やアンケートを実施するなど、消費者被害防止の啓発効果を高める工夫をしています。
- 消費生活部門が積極的な取組を行うことにより、福祉部門との連携強化に発展させています。福祉部門との連携により、見守り活動の相乗効果が期待できます。